



News Release

株式会社フルッタフルッタ
2023年2月20日



日本経済新聞「Next Company」 3年間の時価総額伸び率で8位ランクイン 新型コロナ禍においても増収増益により4.42倍の伸び率を達成

この度、2023年2月20日（月）に日本経済新聞より公表された「Next Company」にて、株式会社フルッタフルッタ（所在地：東京都千代田区 社長：長澤 誠 以下「当社」）が2020年1月の月間平均時価総額と比較して本年1月の増加率が大きい企業（直近本決算の売上高が300億以下の上場企業中）として8位にランクインしたことをお知らせいたします。

タイトル：『脱炭素・非接触、けん引役に 3年間で時価総額を増やした企業』

全ランク表ならびに記事 URL：<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO68601110Z10C23A2TLB000/>

当社では、2019年末より始まった新型コロナウィルス感染拡大下においても増収増益することができ、2020年1月の月間平均時価総額から4.42倍という伸び率を達成することができました。

この度の結果は、多くの方々の多大なるご支援とご尽力による結果だと考えております。当社では今後もさらなる成長を目指し、進化と躍進に努めてまいります。当社の株主、製品ユーザーの皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■時価総額が伸長した背景

この3年間、新型コロナ禍で目まぐるしく情勢が変化する中、当社では円安や資源の高騰による影響を受けながらも、備蓄在庫の有効活用と、女性の心身の健康をケアする「フェムテック・フェムケア」市場への積極的なアプローチや、女性ターゲットの新商品の導入促進、外食チャネルの好調がアサイーの需要再拡大をけん引し、また台湾をテーマとした商品の売上伸長など、これらの活動による増収増益が時価総額に反映されたものと評価しております。

さらに、当社では創業当初より持続可能な農業である「アグロフォレストリー」で栽培されたアサイーやアマゾンフルーツを扱っており、脱炭素社会の実現に向けて2022年6月より開始したEAPサービスを皮切りに、当社オンラインショップの該当セットや、製品自体へのCO₂削減表示を行っており、市場からの関心も多く寄せられている状況です。当社ではご支援いただいている皆さまのご期待にお応えできるよう、引き続き事業活動を通して健康と環境面での貢献にも励んでまいります。

■フェムテック・フェムケアについて

昨今の健康市場において、女性の月経・妊娠・更年期といったさまざまな健康問題に対し、「フェムテック・フェムケア」が注目されています。内閣府が発表した「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）2021」と「成長戦略フォローアップ」には、「フェムテックの推進」が盛り込まれ、「フェムテック製品・サービスの利活用を促す仕組み作りを2021年度から支援する」と明記され、これまでタブー視され、プライベートな問題とされてきた女性の健康問題に対し、社会全体が向き合い、支援していく流れが生まれています。

■本件に関するお問合せ先■

株式会社フルッタフルッタ 03-6272-9081

■CO₂削減量表示について

当社のサプライヤーであるトメアス総合農業協同組合では、アグロフォレストリーの農場約 7,000ha に栽培されている高木樹種が固定する温室効果ガスが、年間でおよそ 5,3185t と試算されています。（自社調べ）よって年間で生産される原料で割り込むことで一製品あたりの CO₂ 固定量を算出しています。

※エコ・アクション・ポイントプログラム事業における環境省認定値



■森をつくる農業「アグロフォレストリー」について

アグロフォレストリーは農作物と樹木を混植する農法の総称で、世界各地で様々な実践例があります。トメアス総合農業協同組合が実践するアグロフォレストリーは、伐採によって荒廃したアマゾンの土地に多様な作物と樹木を植え、20年程の年月をかけて森のように農地を構成していきます。

1年目から収穫が得られ、持続的に収益をあげていけるよう計画的に農地を構成していく点が特徴で、草原が森のように遷移していくような様相から、「遷移型アグロフォレストリー」とも呼ばれています。

アグロフォレストリーは森をつくる事から、樹木の成長過程で二酸化炭素を吸収・削減するだけでなく、酸素を供給し、生物多様性を大幅に回復させます。経済で自然を回復させる「ナチュラルポジティブ」を実現させるサステナブルな農業として期待されています。

【荒廃地】



トメアスの周辺には伐採などで荒廃地化した土地が広がっています。アマゾンの土壌は薄く、伐採してしまうと養分が流れて作物が育ちにくくなります。

【1年目】



1年目から将来にわたり収穫を得られるよう計画的に野菜やコショウ、果樹、材木の苗を植えます。

【5～10年目～】



コショウが枯れ、果樹が実をつけます。この時期が最も作物の種類が多く、また最も二酸化炭素の吸収量が多い時期とされています。

【20年目～】



高木と低木が共存する森のようなアグロフォレストリーが完成し、光のコントロールをしながら低木果樹の生産性を維持していきます。

■株式会社フルッタフルッタについて

アサイーをはじめとするアマゾンフルーツ輸入加工販売ビジネスのパイオニア。

「自然と共に生きる」を理念に、森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存する持続可能な社会の実現を目指して 2002 年創業。

ブラジルのトメアス総合農業協同組合（CAMTA）よりおもにアグロフォレストリーで栽培されたアマゾンフルーツ原料を輸入し、メーカーや外食チェーンへ販売を行うほか、「ナチュラル・新鮮・おいしい・本物」をモットーとする自社製品の製造と販売などを展開。

■本件に関するお問合せ先■

株式会社フルッタフルッタ 03-6272-9081

設 立：2002年11月21日
資 本 金：970百万円（2022年12月末時点）
所 在 地：東京都千代田区九段北3-2-28 アグロフォレストリーBldg.
代 表 者：代表取締役 社長執行役員 CEO 長澤 誠
証 券 コ ー ド：2586 東証グロース
ホ ー ム ペ ー ジ：<https://www.frutafruta.com/>

■ 本件に関するお問合せ先 ■

株式会社フルッタフルッタ 03-6272-9081